

ジニ係数に見る中南米諸国の不平等

国名	調査年	ジニ係数	2005	2000	1996	1991	1988	1986	上位 10% の占有率
(中南米)									
ハイチ	2001	59.2							47.7%
ホンジュラス	2009	57.0	59.7		55.7	51.9			42.4%
ボリビア	2007	56.3	57.8	62.8		42.0			43.3%
グアテマラ	2006	55.9		54.3					44.9%
コロンビア	2010	55.9	56.1	58.7	56.9	51.3	53.1		44.4%
ブラジル	2009	54.7	57.4		60.6		61.4	58.5	42.9%
ベリーズ	1999	53.1			56.9				42.2%
パラグアイ	2010	52.4	52.5						41.1%
チリ	2009	52.1		55.3	54.9				42.8%
パナマ	2010	51.9	54.0			58.2			40.1%
コスタリカ	2009	50.7	47.6	46.5	46.5			34.4	39.5%
エクアドル	2010	49.3	54.1	56.6					38.3%
エルサルバドル	2009	48.3	50.3		51.2	54.0			37.0%
ペルー	2010	48.1	51.1	50.8				45.7	36.1%
メキシコ	2010	47.7		51.9	48.5				37.2%
ドミニカ (共)	2010	47.2	51.1	52.0	47.4			47.8	36.4%
ジャマイカ	2004	45.5			40.5		43.2		35.9%
ウルグアイ	2010	45.3	45.9	44.4	42.7				34.4%
ベネズエラ	2006	44.8	49.5						33.2%
ガイアナ	1998	44.5							34.0%
アルゼンチン	2010	44.5	49.3	51.1	49.5	46.6			32.3%
セントルシア	1995	42.6							32.5%
ニカラグア	2005	40.5							31.5%
トリニダード・トバゴ	1992	40.3					42.6		29.9%
キューバ		n.a.							n.a.

(比較のための参考)

国名	調査年	ジニ係数	国名	調査年	ジニ係数	国名	調査年	ジニ係数
(北米)			(欧州)			スペイン	2000	34.7
米国	2000	40.8	英国	1999	36.0	スウェーデン	2000	25.0
カナダ	2000	32.6	フランス	1995	32.7	ロシア	2009	40.1
			ドイツ	2000	28.3			

国名	調査年	ジニ係数	国名	調査年	ジニ係数	国名	調査年	ジニ係数
(アジア)			(アフリカ)			セネガル	2005	39.2
バングラデシュ	2010	32.1	ブルキナファソ	2009	39.8	シエラレオネ	2003	42.5
カンボジア	2008	37.9	カメルーン	2007	38.9	南アフリカ	2009	63.1
中国	2005	42.5	エジプト	2008	30.8	タンザニア	2007	37.6
インド	2005	33.4	ガボン	2005	41.5	ウガンダ	2009	44.3
インドネシア	2005	34.0	ガーナ	2006	42.8	ザンビア	2006	54.6
韓国	1998	31.6	ケニア	2005	47.7			
マレーシア	2009	46.2	マダガスカル	2010	44.1	(中東)		
ネパール	2010	32.8	マリ	2010	33.0	イラン	2005	38.3
パキスタン	2008	30.0	モロッコ	2007	40.9	ヨルダン	2010	35.4
フィリピン	2009	43.0	モザンビーク	2008	45.7	カタール	2007	41.1
タイ	2009	40.0	ナミビア	2004	63.9	トルコ	2008	39.0
ベトナム	2008	35.6	ナイジェリア	2010	48.8			
日本	1993	24.9	ルワンダ	2011	50.8			

(出典) World Bank, World Development Indicators 2012

(説明)

1. 上記の表は、世銀の「世界開発指標」最新版から、中南米諸国の平等／不平等の程度を見るためジニ係数の部分を採録し、不平等（ジニ係数の高い）の順に並べたもの。また、世界の他地域と比較できるようにその他地域諸国のジニ係数も採録した。右端部分は、その国の上位 10%の富裕人口が所得（または消費）の何%を占有しているかを示したものである。
2. 上記表によれば、アフリカに中南米諸国以上に極端な不平等を示す国々（南ア、ナミビア）がいくつかあるものの、世界的に見ても中南米は不平等の程度が他地域に比べて激しい地域であることが分かる。また、過去の数値を見ても中南米諸国の不平等が著しく改善傾向にあるとも言えない。
3. 「貧しい国＝不平等、豊かな国＝平等」と考えがちであるが、「富裕／貧困」と「平等／不平等」に必ずしも相関関係がないことは上記表からも明らかである。中南米で最も貧しいハイチは最も不平等（ジニ係数が高い）であるが、二番目に貧しいニカラグアは逆に最も平等である（つまり、「みんな平等に貧しい」ということを意味する）。また、中進国段階に入り、著しい成長を遂げているコロンビア、ブラジル、チリ、コスタリカなどがアフリカ並みかそれ以上の不平等度を示していることは驚きである。

(注) ジニ係数 (Gini coefficient)

主として社会における分配の平等・不平等を計る指標として使用される。例えば、100 人に対して 100ha の土地が分配されている場合、1 名が 100ha 全てを所有し残る 99 人が土地無しである場合が最も不平等であり、全員が 1ha ずつ所有している状態が完全な平等である。前者を「1」、後者を「0」とし、その間の平等・不平等の程度を示す係数。1 に近いほど不平等、0 に近いほど平等ということになる。なお、世銀では「1～0」ではなく、上記表のように「100～0」で表すことが多い。一般に、社会的騒乱に至りかねない不平等の警戒水準は 0.4 (40.0) とされている。